

## 5-11 東海地方東部地域におけるテレメータによる水位観測結果 (1990年) (9)

### The Variation of the Groundwater Level Observed by Telemeter System in the Eastern Tokai District, Central Japan (1990) (9)

地 質 調 査 所  
Geological Survey of Japan

前報（地質調査所，1990）に引続き，1990年分の東海地方東部におけるテレメータによる地下水位観測結果を報告する。

観測井は第1図に示すように前年と同様，清水，榛原及び浜岡の三地点に置かれている。観測データは2分毎に収集・処理されているが，本報では上記3観測井における1990年1年間の1時間平均値を榛原観測井で観測された気圧・降水量と共に第2図に示す。

以下に観測結果の概要を述べる。

#### 1) 清水観測井

例年の通り，冬に極小，夏に極大を示す年周変化が現れている。本年は例年より春の水位上昇が早く現れ，秋から冬にかけての水位低下が小さい。これらの変動はすべて降水の影響と考えられる。

#### 2) 榛原観測井

本井の水位は年周変化が清水観測井のように顕著に現われず，気圧変化の影響を顕著に示す。第2図には気圧補正を加える前の観測値（observed）と，補正を加えた値（corrected）の両者を示した。補正後の年間変動は地震時の変化を除けば，数cmにとどまっている。

#### 3) 浜岡観測井

本井の水位は榛原観測井ほど顕著ではないが，気圧変化の影響を若干示し，清水観測井とほぼ同じ位相の年周変化を示す。気圧補正後の年間変動はほぼ30cm程度である。

#### 4) 地震と関連する水位変動

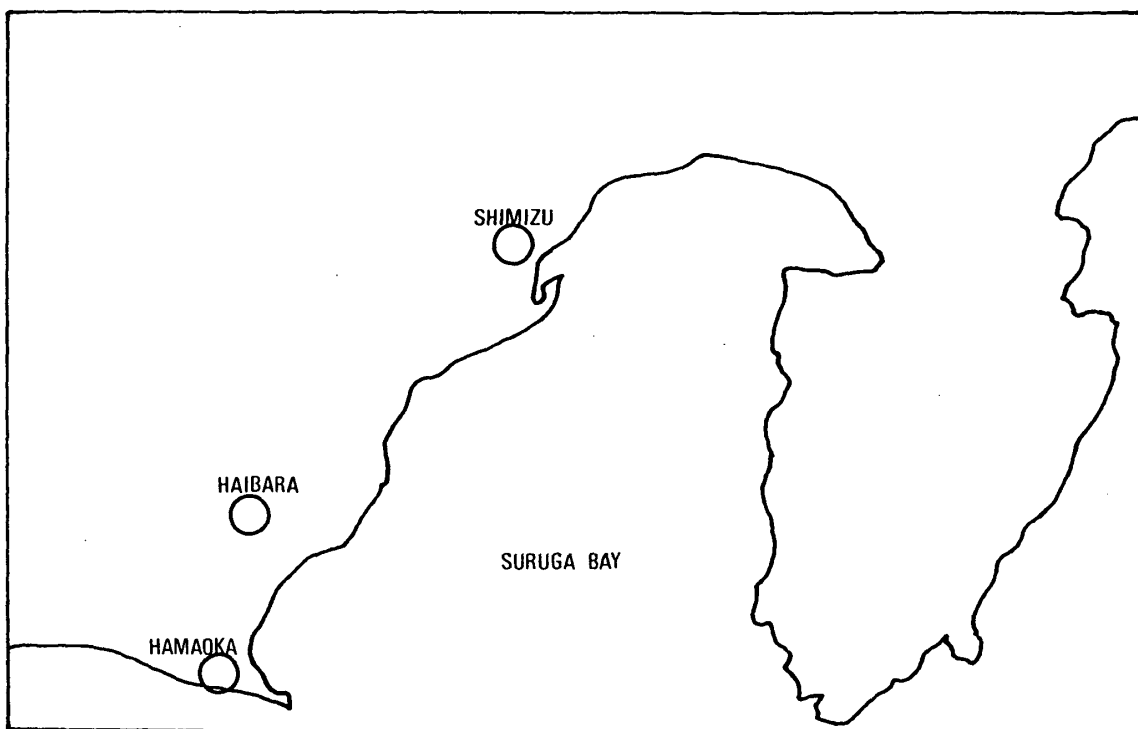
第3，4図に示すように，気圧，潮汐，降水補正後，榛原観測井において1990年2月20日の地震後に10cm，9月24日の地震後に1.6cmの水位低下が観測された。

（高橋 誠，松本則夫，野田徹郎）

### 参 考 文 献

#### 1) 地質調査所：東海地方東部地域におけるテレメータによる地下水位観測結果

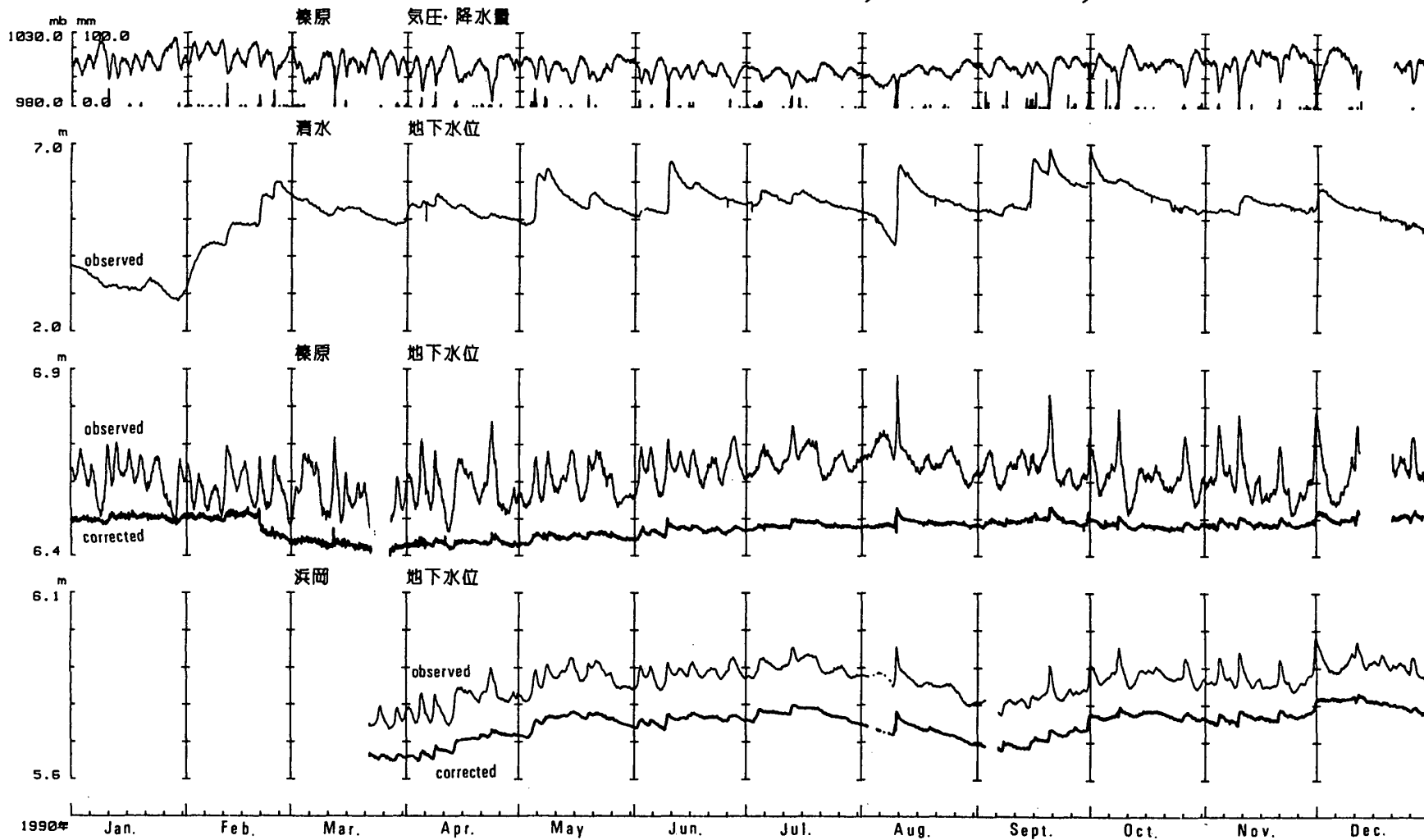
- (1) 連絡会報，30(1983)，263-270.
- (2) 連絡会報，32(1984)，266-269.
- (3) 連絡会報，34(1985)，317-320.
- (4) 連絡会報，36(1986)，292-295.
- (5) 連絡会報，38(1987)，384-387.
- (6) 連絡会報，40(1988)，310-313.
- (7) 連絡会報，42(1989)，296-298.
- (8) 連絡会報，44(1990)，273-276.



第 1 図 東海地方東部地域地下水位観測井位置

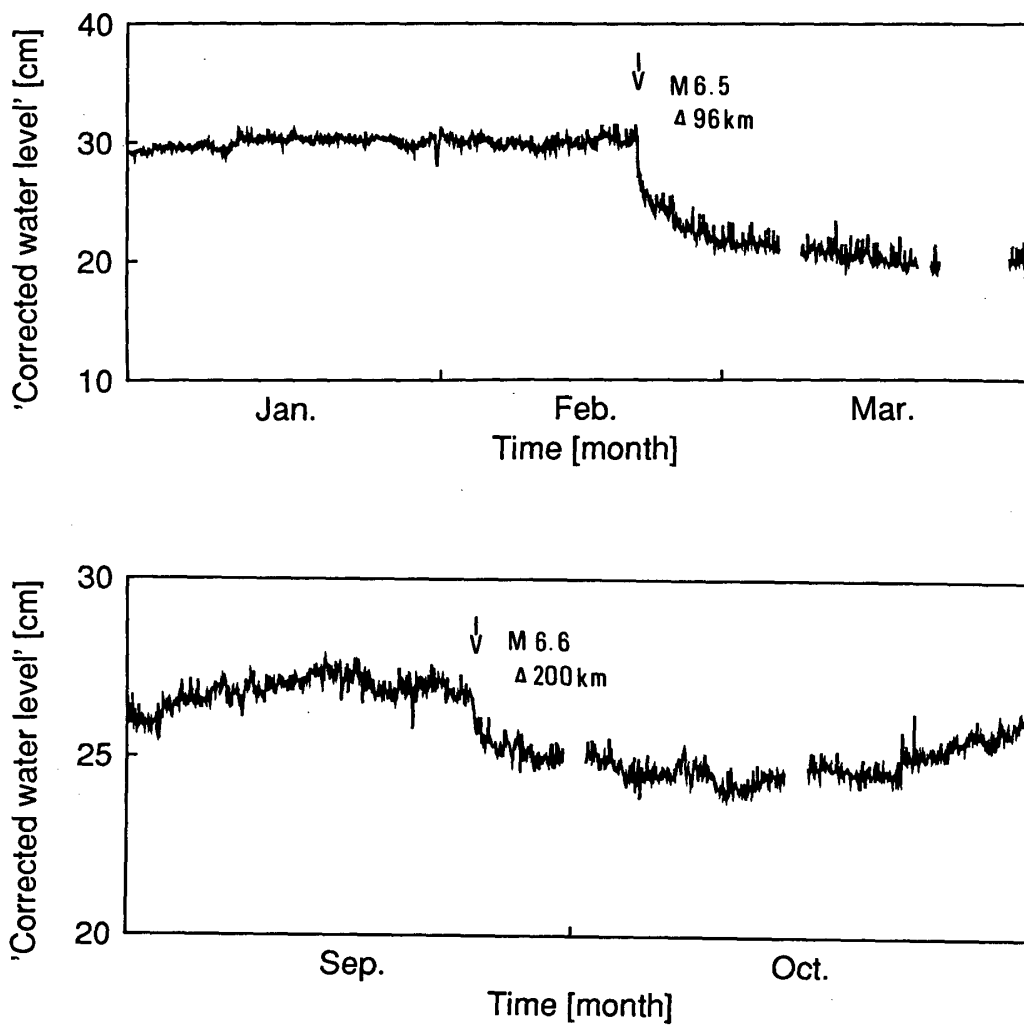
Fig. 1 Locality of the groundwater observation sites.

東海地域地下水位観測結果(1990年1月~12月,時間平均値,気圧潮汐補正)



第2図 東海地域地下水位観測結果(1990年)(1時間平均値)

Fig. 2 Variation of the groundwater level at three observation sites in 1990.



第3図 榛原観測井における地震に伴う地下水位変化（1990年2月，9月）

Fig. 3 Co-seismic changes of the groundwater level at Haibara observation site on February 20 and September 24 in 1990.